

令和2年度 まんのう町学校教育実践指針

自立へ向かう教育 -協働を幹にして学びをつくる-



自立!

< 本年度の重点 >

1 特色ある社会に開かれた学校づくりをめざす

- 全教職員の共通理解のもと、学校づくりのビジョンと方針を具体的に描いた教育課程を創り、学校運営に努める。
- 子どもの主体性と発想を引き出し、思考力・判断力・表現力を磨く教育活動を充実させる。
- 本が読みたくなる環境を整備し、学校をあげて読書を楽しむ習慣を身につけた子どもを育てる。

2 一人ひとりの子どもが安心して楽しく過ごせる学校づくりに努める

- 子どもと子ども、子どもと教師、学校と家庭・地域の温かい関係を築き、学校をあげて子どもの心に密着した学校づくりを推進する。
- 子どもの思いやその背景に心を寄せ、子どもが安心して登校し、多様な人間関係を結んでいく力を養うよう支援に努める。

3 子ども主体の授業づくりを深める

- 深い学びの鍵となる各教科等の「見方・考え方」を重視した教材研究に努め、「主体的・対話的で深い学び」に向かう授業を追求し、一人ひとりの学びを質的に向上させる。
- 読む力、読み取ったことをもとに考える力や情報活用能力、また、問題発見・解決能力や粘り強く解決しようとする態度等を日々の学習の場において積み上げ、学力の定着を図る。

4 学校と地域が協働で子育てにあたる

- コミュニティスクール(学校運営協議会制度)を学校と地域づくりの核として位置づけ、学校と地域が協働して組織的かつ効果的に特色ある学校づくりを推進する。
- 学校と家庭・地域が学校教育目標や方針、育てたい子どもの姿等を共有する具体的で実践的な場や方法を工夫しながら、子どもの育成にあたる。

学校教育目標(R2 まんのう町立長炭小学校)



自立に向かう教育の創造

- 認め合い プラスでかかわり合おうとする子どもを育てる -

◆認め合い いかし合い みんなが元気な学校

◆保護者との太い絆や地域との温かい関係を土台にする 開かれた学校

【めざす子ども像】認め合う力(相互作用で元気になり合う力)

- じっくりと学び続ける子
- 前向きにかかわろうとする子
- 故郷(地域)を大切に想い続ける子

【めざす教師像】説得力(聞かせる力・納得させる力)

- 子ども理解に努め、子どもに寄り添う教師
- 指導力向上をめざして同僚と研鑽し合う教師
- チームの一員としての自覚を持ち、協働する教師
- 家庭や地域との太い連携をリードし、信頼される教師

子どもも大人も・・・

な	なかよく
か	がんばる
す	スマイル
み	みんなが

ながすみしょうがっこう

子育て共同体
『おとな連携』

< 学びに没頭する授業づくり >

■聴き合う力 → 深い学び

- 全員参加の聴き合う学び合い
- 基礎学力の定着
- 生活とつなぐ学習 * 「自学力」の育成
- 豊かな読書習慣の育成

< 人間関係形成能力を育む活動づくり >

■許し合う・認め合う心 → 自治力

- 集団活動による自己決定力・自己有用感の育成
- 地域教材(人・もの・こと)との豊かなかかわりの工夫

< 自ら心と体を元気にする習慣づくり >

- 自己指導能力の育成
- 家庭と足並を揃えた望ましい生活習慣の育成
- 遊びや運動による心と体の元気創造



専門職、チーム構成メンバーとして必要となる
個々の教師力の確保・育成